

結の会 第21号

岐阜県在宅保健師「結の会」

(令和2年12月発行)

令和元年度岐阜県在宅保健師「結の会」総会を開催

今年度、令和2年度岐阜県在宅保健師「結の会」総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、書面での開催となりました。

総会の議案は下記のとおりです。

【報告事項】

1. 岐阜県在宅保健師「結の会」補助金について

【協議事項】

1. 令和2年度岐阜県在宅保健師「結の会」事業計画(案)について

【その他】

1. 傷害保険加入について

提出された全議案は、審議のうえ原案通り承認・可決されました。なお、総会終了後に開催している研修会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止となりました。



令和2年度 結の会役員

会長 あいさつ

「結の会」会報第21号の発行に寄せてご挨拶申し上げます。

さて、令和2年度の総会・研修会は「結の会」が充足以来、初めての書面開催となりました。

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防を意識して日々お過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルス感染症は、開発中のワクチンの有用性が報道されているところですが、各種GoToキャンペーンによる経済活動の再開とともに、都市部を中心とし急速な感染者数の増加が発生しており、「マスク着用」「手洗いの徹底」「ソーシャルディスタンスの確保」を意識しながら、今後もウイルスと共存していく「ウィズコロナ時代」を生き抜いていかなければなりません。

そのような中で、会員の多くは各地域で、結の会としての活動以外に主に保健センターでの乳幼児健診や赤ちゃん訪問、特定健診の事後指導等で活躍しています。

一方、地域の最前線で奮闘する全国の保健所ではコロナ対応に追われ悲鳴を上げています。岐阜県においても同様で、特に保健師が不足している状況です。厚生労働省ではこうした状況を踏まえ、各都道府県に在宅保健師等の人材バンクを設置すべく調査が行われました。

既に保健所や保健センターにて相談業務等に就いている方もあるかと思いますが、このような非常事態に自分も何かできないかと思っている方も多いと思います。そうした会員の方は、できる範囲で構いませんので在宅保健師としてのご協力をお願いします。

昨年度結の会は20周年を迎えましたが、現在、結の会は会員が減少傾向にあります。この歴史ある会を守るためには、退会者を出さない一方で、新入会員を増やしていくことが課題です。会員の皆様には近くの未加入の保健師に声をかけていただく等ご協力をお願いします。皆さんで協力し合いながら、結の会会員で良かったと思っていただけるような魅力ある会にしていこうではありませんか。

最後に、関係各位のご支援ご協力に感謝申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。

会長 吉川 増子

